



学校運営協議会だより

令和6年6月18日(火)
国立市立国立第四小学校
校長 牧野 陽一郎

合言葉「夢いっぱい 感動いっぱい チャレンジいっぱい 国立第四小学校」

令和6年度 第2回学校運営協議会を開催しましたので、議事の概要を報告します。

開催日時 : 令和6年6月12日(水) 10:00~12:00
会場 : 国立第四小学校 第一会議室
出席者 : 緑川隆(会長) 日吉友里奈(副会長) 牧野陽一郎(校長) 榎本七重
立入秀子 関武彦 齋藤裕子 松ノ木由季 山村良朋
地域学校協働活動推進員 : 日吉友里奈

《主な協議内容》 司会: 緑川隆(会長) 記録: 柏木光晴(本校CS推進委員)

■教員の任用について

■学校評価報告書について

※以上協議内容について、学校運営協議会は承認しました。

《主な意見》

■教員の任用について

- ・「体育健康教育推進校(東京都の指定・1年次)」テーマ「心も体も健康～ハッピースマイル～」を目指して、全教員、年間2回の公開授業を行い、管理職による授業観察、教員同士の相互授業参観を実践しているので、来年度、異動がある場合は、体育健康教育に長けた教員が2名いると体育健康教育について、更に推進されるのではないかと。
- ・保護者が安心して相談できるような経験豊かな教員が増えるとよい。

■管理職の異動について

- ・今年度から国立市でCSに関する取組が始まったばかりなので、様々な点において、新しく作ったシステムを調整し、継続していくことが重要になってくるので、今年度を含め、令和8年度まで3年間は管理職の異動がないようにしてほしい。

■学校評価報告書について

- ・学校評価を2回行うことは、様々な業務がある中、学校にとって負担にならないか。
→アンケートを2回実施し、それぞれにおいて振り返り、改善策を講じることで、RPDCAサイクルにのせて改善することを目的としている。
- ・アンケート結果を保護者の方に具体的に伝えて、協力して取り組んだ方がよいのではないかと。1回目の結果を教職員だけでなく、保護者や児童に共有したほうがよいのではないかと。
- ・保護者の立場では、紙を一枚もらうだけでは意識することは難しい。保護者会を活用する等、共有の仕方を工夫するとよいのではないかと。
→1回目のアンケート実施後、結果を地域・保護者の方、児童に共有し、啓発を行うことは必要だと考えており、効果の大きい共有の仕方を検討していく。
- ・言語環境について児童と教員のアンケート結果を踏まえ、どのような取り組みをしているのか。
→生活指導部で組織的に取り組めるように進めていく。児童のアンケート結果と教員のアンケート結果に乖離が起らないように児童に分かりやすく指導する必要があると考えている。

■たてわり班活動「四友」について

- ・児童同士の絆を強くするためにも、6年間継続して同じ班にしている。週に1回のたてわり班活動「四友」を通して、上学年の思いやりのある行動や優しい声掛けを通して、下学年が他者との接し方を学ぶことができる。また、下学年が上学年への憧れをもつことで上学年それぞれのよさを生かし、自己有用感を高めていけると考える。

※第2回学校運営協議会は、協議内容・主な意見について記録に残すことに承認しました。



次回の学校運営協議会は、令和6年8月23日(金)9時より国立第四小学校で開催します。